

ダイカスト金型の“高寿命化へ” 新たなメンテナンス スキーム

Ko-Cas Care



コーキャス ケア

アルミダイカスト金型をご使用の方へ…

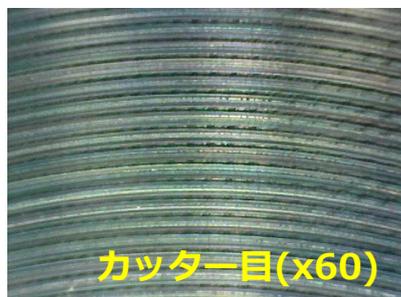
『金型は高価であるし…もっと長く使いたい!』というお客様に。

金型の高寿命化、解決方法はズバリ…定期的な亀裂起点の除去!

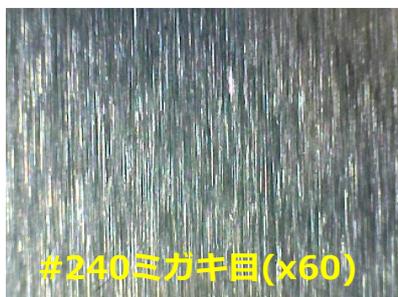
(“微小な亀裂やクラック”をショットで叩き潰す!、金型が新しいうちに始めるのが効果的)

<一般的な金型表面仕上面 - Ko-Cas前>

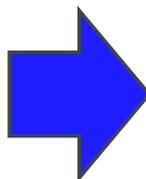
(写真: SKD61 HRC45±1、焼入後)



カッター目(x60)



#240ミカキ目(x60)



<Ko-Casケア処理後>



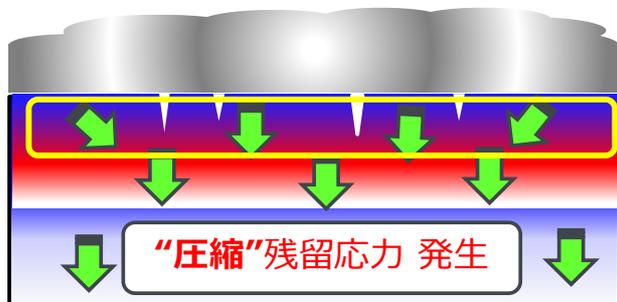
Ko-Cas (x60)

【Ko-Casの特徴】

- * 微細表面の傷を除去し 微細なディンプル目に改質!
- * 表面の残留内部応力に“圧縮”を付与(約-450Mpa→ 約-950Mpa)
- * 表面組織の緻密化、表面硬度UP.
- * 表面粗さへの悪影響は、ありません(Ra1.2前後, ▽▽▽▽)

【ヒートチェックのメカニズム】

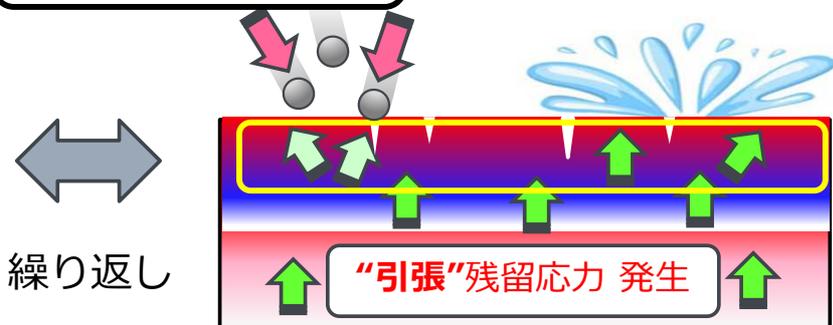
アルミ溶湯 (加熱作用)



“圧縮”残留応力 発生

Ko-Casは 傷を潰し、
圧縮応力も付加

離型剤塗布 (冷却作用)



繰り返し

“引張”残留応力 発生

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

お問い合わせは当社HP. または stm@koide-net.co.jpまで
(担当: 小長井、濱田、鈴木伯)



KOIDE

株式会社小出製作所 表面改質事業部